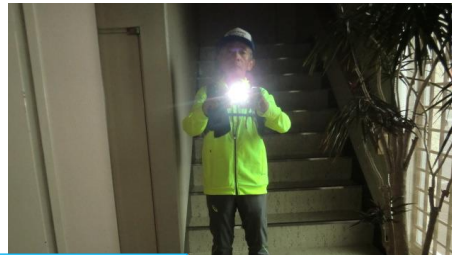


名寄駅

第9節 8日目： 6月27日（土）曇り／晴れ

いよいよ、本日は稚内～和寒までの集大成である。6時前に起床し、朝風呂入り、作戦を練る。昨日、歩きを共にしたカタツムリが元気であったのでホットする。6時50分頃、ホテルのロビーで朝食（パン、茹で卵、コーヒー）。7時半頃ホテルを出る。



ニュー富士屋ホテルにて

道路地図をお見せしながら、駅員さんに、北星から日進に通り抜けられるか否か確認する。予想通り天塩川が立ち塞がり、「できない」との回答を得る。本日は、名寄を7時50分発なので、これまでのウォーキングの中ではゆっくりしていた。しかし、営業キロは、天塩川温泉～名寄まで45.3kmで、これまでのウォーキングの中で最長距離への挑戦となる。加えて、智恵文～北星～日進の踏破への道筋が大変そうで不安一杯。しかしながら、小さな冒険家として「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の心境で臨むことにする。歩きやすくするため、ジョギングウェアスタイルで臨むこととする。名寄駅で沢山の高校生が下車する。運賃は

930 円。名寄から再度天塩川温泉まで風景を見ながら進む。6 月 22 日の南稚内の移動以来、2 度目の観察である。日進から智恵文までは山間で難しいようなコースであった。美深駅で列車が離合。天塩川温泉駅には 8 時 43 分到着。



名寄駅 天塩川温泉駅

近道し国道 40 号線には 8 時 54 分に出る。9 時 12 分、豊清水駅の看板を見つけ、右折し一般道路に入る。9 時 20 分、清水線踏切を横切り、鉄道の右側を歩く。道路から 10m 位上がったところに豊清水駅があった。駅前には民家はなかった。民家が見えない道路を歩く。



豊清水駅の看板 豊清水駅

9 時 38 分踏切を横切り、国道 40 号線（9 時 41 分）に戻る。再び走り出す。10 時 3 分、旭川まで 114 km 地点に到達。曇りから晴れ模様となる。牛舎あり。10 時 8 分、旭川 114 km、名寄 37 km、美深市街 16 km 地点に到達。10 時 21 分、45 歩ある島呂布橋を通過。一般道に入り、10 時 26 分、国道 40 号線踏切を横切り鉄道の右側を歩く。頭巾のような駅である恩根内（おんねない）駅には、10 時 32 分到着。



恩根内駅近し 恩根内駅

駅前には民家がかかりあった。10時42分、国道に戻る。一般道、鉄道、国道が複雑に絡み合っていたので、国道に出た際、反対方向に進まないよう用心する。名寄、美深の道路標識の方向に進む。10時44分、617歩ある恩根内大橋（天塩川）を渡る。11時3分、106歩ある大手橋（オテレコッペ川）手前で初めて自動販売機を見つける。ここで水分補給。その先で、3頭の乳牛を見る。11時13分、天塩山弘法寺第28番札所弘法寺（北海道33観音霊場）前を通過。それにしても、北海道は神社や寺が少ないような気がする。走りながら一句浮かぶ。

「宗谷路よ 勇気をくれた カタツムリ」



道の駅“びふか”

11時38分、道の駅“びふか”で小休止。ソフトクリーム（300円）で一服。10分位休む。11時41分、旭川107km、名寄30km、美深市街9kmの道路標識前を。11時45分、美深町西里を通過。風冷たし。半袖のTシャツの精もあるかもしれないが。11時58分、伝承遊学館（郷土の歴史資料展示）前を通過。その先に西紋神社（12時）があった。この辺りに紋穂内駅があると思われるが、誤って未踏破となる。左手に駅があるにも関わらず、右手にあると思いでいたのが失敗。加えて、ジョギングと歩きの併用のため目算を誤ったこともある。簡単な駅程未踏破となりやすい。下沼駅に続き今回2度目である。去年は伊納駅と光珠内駅だった。ただし、伊納駅は精密な地図がないとクリアできないが。



西里



伝承遊学館



西紋神社

紋穂内駅はこの界隈か！！残念ながら未踏破となる

12時5分、西里3線に到達。自転車野郎と対面。紋穂内駅は西里4なので次と思しや西里2線(12時13分)であった。旭川まで103km地点に到達。12時17分、577歩ある美深大橋(天塩川)を渡る。天塩川は全長256kmとあった。12時28分、美深町富岡に到達。国道から300m位外れた先に初野駅があった。



富岡



初野駅

13時2分、旭川まで100km地点に到達。13時2分、123歩ある沖金内橋(雄木禽川:おききん)を渡る。13時12分、美深という地名に到達。13時14分、旭川開発建設部士別道路事務所美深分庁舎あり。歩きの流れが掌握できる中川町、音威子府村、美深町のロゴ入りの看板あり。イセキ北海道美深営業所もあり。その先の炭火焼肉“みやおか”で遅い昼食(カツ丼)とする。ご主人と世間話をする。妹さんが神奈川県綾瀬市にお住まいとのことであった。私が入った後、もう一人の客(味噌ラーメン注文)がやって来る。この店で13時20分~14時まで休息とする。名寄市内と同様、有線放送が聞こえて来る街並みを歩き、美深駅には14時11分到着。鉄筋の2階建ての駅舎には25m位高さの塔のような建築物があった。天塩中川駅や音威子府駅と同様賑やかな駅前であった。駅前には何軒かの食堂あり。14時12分、ふれあい公園があった。

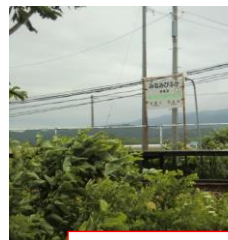


雄木禽川 三つの町勢揃い



みやおか 美深駅

14時19分、7線踏切を横切り鉄道の左側を歩く。ここから地図を見ながら不安な気持ちで走る。14時35分、袋小路にもぶつかる。14時55分、3号線踏切を渡った先に照明灯の施設がない南美深駅に到着。ぬかなん駅や南幌延等と同様・・・。駅前には民家はなし。この駅から智北、智恵文、北星駅と鉄道の左側を歩いた先にある。15時22分、220歩ある大反橋（おおそり：仁宇布川）を渡る。15時8分、名寄美深道路下を潜る。抵抗を受けながら向かい風に立ち向かう。15時25分、智北駅に到着。駅前には民家なし。駅は第3美深名寄線踏切を横切った先にあった。



南美深駅



仁字布川 智北駅

15時32分、下り列車が通過して行く。15時35分、智恵文沼パークがある。民家が数軒立ち並ぶ智恵文駅には15時50分到着。駅前には郵便局や八幡神社（鳥居）があった。この駅舎も勇知駅等と同様、列車を改造したものであった。この鳥居がある角を垂直に走る。智恵文駅から北星駅までは1.9kmあった。16時10分、第二美深名寄線踏切を横切って、鉄道の左側を歩いた先に待望の北星駅（16時11分）あった。糠南と同様、駅舎がないと同様、次の駅である日進は消されていた。これは、歩きでは行けないというマークと思われる、雄信内駅や糠南駅でもこのマークを見たからだ。つまり、天塩川や山が立ち塞がり行き止まり。それ故、再度、走った1.9kmの道筋をピストン運動する。途中、川沿いに沿う近道もあったが、敢えて通らず。



智恵文駅



北星駅



智恵文駅前 天智橋

16時31分、八幡神社まで戻る。16時36分、647歩ある煉瓦色の天智橋を通過。智恵文駅から垂直に2km続く直線道路を走る。16時53分、智恵文中学校があった。16時54分、十字路交差点となり、智東という方面を走る。16時59分、真宗大谷派智恵文寺駅があった。17時2分、86歩ある基線橋(智恵文川)を渡る。17時26分、鉄道を横切る跨線橋(407歩)を通過。ここから山間となる。天塩川が鉄道に沿って続く。熊除けに笛を吹きながら5~6kmの鉄道と天塩川の間続く路を走る。17時4分、倉庫があり。17時40分、第一美深名寄線踏切を横切り、鉄道の左側となる。ここから、本格的な山間となる。すなわち、左手は鉄道に沿った山、右手は天塩川。いかにも熊がでそうな舞台であった。このシリーズ最もスリルがある空間となる。同時に間もなく日没の時間帯だし。そのような心境の走り歩きが続く。17時54分、怖い場面の一例をデジカメに収める。悪いことにデジカメの電池マークが黄色となる。それ故、ここからは、撮影を極力抑えて走る。18時7分、山の向こうに間もなく日没となる西日を見る。昨年の岩見沢近郊を思い出す。この辺りから畑が広がる。間もなく日進駅だろう。



智東日進



第一美深名寄線



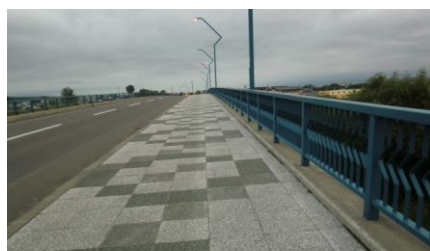
不安な山道

18時20分、左手に上り列車が通過していく音が聞こえて来る。安堵の気持ちとなる。同時に民家が見え出し、犬の鳴き声が聞こえて来る。18時22分、66歩ある赤い智東橋を横切る。18時40分、やっとのことで日進駅に到着。智北日進踏切を横切った先に駅があった。感動また感動。この駅も名寄駅のみで北星駅が消されていた。たまたま居られた、18時46分の最終電車で智北駅に向かうというスポーツ帰りの高校生（五十嵐さん）に、日進駅を背景に記念写真を撮って頂く。感謝感激。この高校生と数分雑談する。感謝の気持ちを述べこの駅を去る。



日進駅

ここから、名寄駅までは平坦な花道が続く。ここからは歩いて進む。18時58分、66歩あるブルーの10号橋（十線川）を進む。19時10分、430歩ある日進橋（名寄川）を渡る。名寄市街を歩く。途中、コンビニに立ち寄りアイス購入。やっとのことで宗谷本線の踏破駅である名寄駅に19時48分到着。



名寄川

名寄駅

約11時間の行程であった。ジョギングを取り入れたからできたのであろう。歩きだけならば、15～16時間は要していただろう。駅前の三星食堂で夕食（エビカレー850円）を摂る。20時25分、帰りがけに、ご主人と女将さんに今回の旅について語る。女将さんによると、「この店は各地から色々な経歴の持ち主が集まる。貴方もその一人。記念として、頂いた名刺をお店の掲示板に貼っておきます。頑張ってください」と。大変感動。20時半過ぎ、ホテルに帰り、本日の成果の祝杯を挙げる。昨日買った芋焼酎のボトル霧島で。本日の営業キロは45.3km、万歩計は84,593歩となった。充実した一日であった。



三星食堂



ニュー富士屋ホテル



宗谷本線踏破終着駅“名寄”

第10節 9日目：6月28日（日）晴れ

6時頃起床。6時27分、角を出した元気なカタツムリに「おはよう」の挨拶。ホテルロビーで朝食を済ませ、帰宅の準備をする。7時半頃、ホテル近くのローソンで荷物であるバック（郵便バック）の送付手続き。代金は1,470円要する。ホテルに帰り、旭川から旭川空港ま

でのバス時刻を調べる。本日の旭川空港を発着する時間は 19 時 35 分 (AD088 便、羽田着 21 時 20 分) と遅い。ウォーキングの不測の事態に備えて最終便から 2 番目とした。旭川駅発のバスは、飛行機の発着時間に合わせて時刻表が設定されていた。旭川駅から空港までの所要時間は 40 分。11 時 30 分、11 時 40 分、13 時、14 時 10 分、17 時 55 分とあった。少なくとも 17 時 55 分発のバスに乗れば OK。そのことを考え、名寄発の列車を選定。名寄駅を 9 時発 (名寄 4 号快速) で旭川駅 (10 時 28 分着) に向かうことにする。次の各駅は 11 時 2 分までない。その間に特急スーパー宗谷 2 号 (9 時 42 分) があった。



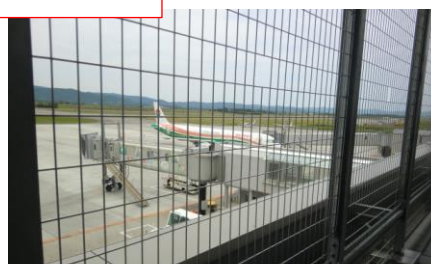
名寄駅



旭川駅



旭川空港



ホテルを 8 時 35 分チェックアウト。ホテル近くの風景を記念写真。8 時 40 分、フコク生命名寄営業所を記念写真。8 時 45 分、昨日お世話になった三星食堂の女将さんに別れを告げる。「昨日のお客さんは 1 本早い電車で帰りました」とのこと。名寄駅には 8 時 47 分到着。予定通り 9 時の電車で旭川駅へ。そして、旭川駅でお土産 (7,374 円) を買い、早いのが 11 時 30 分の電車で旭川空港 (バス 620 円) へ。旭川空港には 12 時 10 分到着。空港内の店 (旭風らーめん) で昼食。その後、空港内のロビーで数独パズルにて 7 時間余過ごす。そして、AD088 便で羽田へ。羽田から横浜までは京急バス (580 円) で。自宅には 23 時半頃到着。充実した 8 泊 9 日の旅であった。旅行費は少なくとも 15 万円は要しただろう。



旭川空港

今回の旅は、雨に多少あう天候との巡りあわせもあったが、その分東北シリーズに比べ、歩きやすいし、またジョギングしやすい環境であった。加えて、下記のような盛り沢山の苦い体験や楽しいイベントの出会い等もある充実した旅でもあった。

- ① 歩きの他にジョギングの採用。
- ② 一日 45.3 km である最長営業キロの踏破。
- ③ 山崎雅史氏による稚内での歓迎。
- ④ 利尻富士を見ながらのジョギングと 8,000 km の踏破。
- ⑤ 愛用の Ipod と買ったばかりの熊除け鈴の紛失。
- ⑥ 山や川等の種々のリスクへの回避。
- ⑦ 8泊9日の長旅と営業キロ 223.1 km の最長記録更新。
- ⑧ 日本縦断へのステップの確立
- ⑨ カタツムリとの出会い



- ⑩ 秘境駅である糠南駅、北星駅、日進駅の踏破
- ⑪ 下沼駅と紋穂内駅の未踏破
- ⑫ 駅間隔最長の更新（佐久～筏島駅の営業キロ 18 km）
- ⑬ 北海道の大自然との対面（牛、ロール、湿原、天塩川）



抜海の近郊